



[編集・発行] 〒740-8585 岩国市今津町一丁目14-51 岩国市教育委員会 生涯学習課

[TEL]29-5210 [FAX]21-3456 [E-mail]gakushu@city.iwakuni.lg.jp [URL]https://www.city.iwakuni.lg.jp

各行事のくわしい内容の確認(申込み・問合せ可能な時間帯を含む)は「申込み・問合せ」先までお願いします

いわ くに

やかた

岩国シロヘビの館で楽しく学ぼう!!

シロヘビってどんなヘビ?

シロヘビは、アオダイショウが突然変異して生まれた、全身が白く、目は赤く、おとなしい性質のヘビです。音はほとんど聞こえず、目も明るさを感じるだけなので、舌でにおいを、骨で音を感じます。

シロヘビは、1週間に1度、生きたえさを食べます。

★岩国白蛇物語

古文書の展示をはじめ、映像やパネルで、シロヘビと岩国の人々の関わりあいを紹介しています。



★シロヘビ百科

シロヘビの骨格や体の仕組みがわかる模型の展示をはじめ、パネルや映像、実物資料を通して、シロヘビの生態の特徴を紹介しています。



岩国市では、シロヘビが年間約100頭生まれ、そのうちだいたい1頭のヘビの頭にハートが現れます。ハートは1年くらいで消えてしまいます。シロヘビは15年から17年くらい生きます。

★シロヘビの不思議

遊びながらシロヘビのことを学べる体験展示や、楽しいクイズゲームがあります(クイズにチャレンジすると認定書がもらえます)。丸飲みの仕組み、移動方法、ウロコの役割などシロヘビのことを深く知ることができます。



家庭の元気応援キャンペーンスローガン

はや ね はや お あさ ほん よ そと あそ なか よ きょう げん き
早寝早起き朝ごはん 本を読んで外遊び みんな仲良く今日も元気

★★★ チャレンジ！なんでもクイズ ★★★

【問題】ハートマークの赤ちゃんシロヘビの愛称は？

あいしょう

【答え】○○ちゃん



※9月5日(金)までに右の申込みコードから応募してください(1人につき1回)▶

クイズに応募すると、正解者の中から抽選でステキなプレゼントが!!

第88号掲載のクイズの答えは、「11日」でした。140通の応募があり、

正解者全員に「ボールペン等」をプレゼントしました。たくさんのご応募ありがとうございました。

★消費生活川柳も一緒に応募してね!▲

消費生活川柳の募集

消費生活に関わる五・七・五の川柳を募集します。五つあるテーマの中から一つを選び、そのことについての川柳を考えてください。

【対象】市内在住または市内の小中学校・高等学校等に通学する児童・生徒

- 【テーマ】
1. 悪質商法や詐欺などにだまされないように呼びかけるもの
 2. グリーン志向消費について
明日の地球を救うため、消費者にできること
 3. 食品ロス対策などエシカル消費を意識した生活について
 4. デジタル機器やデジタル情報との上手な付き合い方について
 5. 生活を支えるお金の大切さについて

※グリーン志向消費とは、環境に配慮した消費行動（例えば再生可能エネルギーやリサイクル製品や、環境にやさしい製品を選ぶなど）。

※エシカル消費とは、倫理や道徳に配慮した消費行動（例えばフェアトレード商品や倫理的に生産された製品を選んだり、マイバックを持参する、食べ残しを減らすなど）

【応募要件】自作、未発表のものであって、一人一点まで。

【募集期間】7月7日(月)～9月5日(金)

【応募方法】上のクイズ・川柳申込みコードで応募できます。

【部門】小学生の部、中学生の部

【表彰】部門ごとに優秀者に賞状と記念品を贈呈します。

【問合せ】くらし安心安全課内 消費生活センター

TEL 29-5017

ミュージカル「宝島」

たからしま

名作と名高い「宝島」は時代を超えて読み継がれ、今回は劇団ポプラが歌とダンス・お芝居に仕立て、人が生きていくためには、何が大事なのかという本質を考えるお芝居で、人生がうまくいかない主人公ジムの「人生をもっと楽しめ」というメッセージが込められた作品です。

【とき】8月24日(日) 14:00 開演 (13:30 会場)

【ところ】玖珂こどもの館

【入場料】1,000 円(4歳未満は無料)

※4歳未満はこども券が必要

【チケット販売】7月1日(火)～

【チケット販売窓口】

・玖珂こどもの館

・生涯学習課

・各教育支所

【問合せ】●教育委員会玖珂担当

TEL 82-5445

●玖珂こどもの館

TEL 82-5446



玖珂こどもの館に

きょうりゅう

恐竜がやってくる!!

玖珂こどもの館に恐竜がやってきます!

全長4m、高さ2mのうごく恐竜にふれたり、いっしょに写真撮影したり…わくわく、ドキドキの恐竜イベントです。恐竜にまつわるクイズ大会やクイズラリーもあります。楽しみながら恐竜について学びましょう。

【とき】10月19日(日)

【1回目公演】10:00 開演

(9:00 開場)

【2回目公演】14:00 開演

(13:00 開場)

【ところ】玖珂こどもの館

【入場料】無料

【定員】各回 先着 200 名

※小学生以下のお子様のみの入場はできません。

【受付開始】9月1日(月) 12:00～

申込みフォームから

お申込みください▶▶▶

【問合せ】教育委員会玖珂担当

TEL 82-5445



「あんしん」と「エコ」をみつける料理教室

りょうりきょうしつ

料理の中の「安心(衛生)ポイント」と「エコ(環境配慮)ポイント」を学んで、実際にやってみよう!

メニューは、ミートソーススパゲッティ、ポテトサラダ、ゼリーの予定

【とき】8月20日(水) 9:00～
(13:00 終了予定)

【ところ】岩国市保健センター 調理室

【対象】岩国市内の小学生と保護者

【定員】12組(先着順)

【応募期間】7月22日(火) 8:30～

【参加費】無料

【主催】岩国管内食品衛生協会

岩国市地球温暖化対策地域協議会

【申込み・問合せ】岩国市環境政策課

TEL 29-5102



『^{かみ}びりっかすの神さま』 岡田淳／作・絵 偕成社

きのしたはじめ

木下始が転校してきた4年1組は、先生がテストの点数のよい順に席を並ばせるというクラスだった。その教室でびりになると小さなすきとおった男が見えることに気がついた始は、男に「びりっかすさん」という名前をつけ、わざとびりになることをし始める。それは、クラスのほかの生徒にも伝わり、仲間がふえていくが…。クラスみんなの心がひとつになっていくさまに胸があつくなる物語です。(対象：小学校中学年から)

と しよ かん し しよ
図書館司書さんのおススメの本



岩国市合併20周年記念

図書館シールラリー＆おうちでもできる！岩国あちこちクイズ

【開催期間：7月1日(火)～12月28日(日)】

※プレゼントの引き換えには岩国市の図書館利用券(スマホ利用券)が必要

図書館シールラリー

～8館をめぐるシールを集めよう！～

- ① 台紙を図書館のカウンターで受け取る
- ② 市内の図書館をめぐる6枚以上のシールを集める

シールが6枚目でC賞：缶バッジ

シールが7枚目でB賞：ホンスキーマモ帳

シールが8枚目でA賞：美和BM車イラスト入り
クリアファイル

おうちでもできる！ 岩国あちこちクイズ

- ① 二次元コードまたは、図書館等にある
チラシの裏側のクイズに答える
- ② もよりの図書館に持っていく
- ③ 正解の方にもれなくプレゼント！



プレゼントはなくなり次第終了します。
詳しくは、図書館ホームページをご覧ください。



いわくにちようこかん しゅつちよう 岩国徴古館の出張！かわら版

・岩国徴古館で昭和時代に関する展示を開催中！▶

今年は昭和元年(1926年)からちょうど100年目の年になります。昭和は64年と長く続いたこともあり、変化や発展のある時代でした。今回は、昭和時代の戦時中(昭和12～20年)の衣服について紹介します。

戦時中は物が不足したことから、服やくつ下などの衣料品は衣料切符と呼ばれる切符と交換していました。衣料切符で交換できるモンペは、もともと農作業をする際に着ていたズボン形の服でした。次第に、日本国内での空襲(空からのこうげき)が多くなると、着物よりも動きやすく、身を守るのに適した服であることからモンペは防空服に選ばれました。

戦時中の日本では、動きやすくてじょうぶな衣服が選ばれて着られていたことがわかりますね。



「モンペ」
昭和18年ごろ

①昔のお金を作ってみよう

【と き】7月19日(土) 10:00～11:30
24日(木) 14:00～15:30

【ところ】サンライフ岩国

【対象】小学3年生～高校生

【参加料】無料 【定員】各12名

②岩国領主の甲冑を体感してみよう

【と き】7月19日(土) ①13:00～ ②14:00～ ③15:00～
23日(水) ① 9:00～ ②10:00～ ③11:00～

【ところ】岩国徴古館

【対象】小学生～高校生

【参加料】無料 【定員】各回1組



③ミニ掛軸を作ってみよう

【と き】7月23日(水)
14:00～15:30

【ところ】サンライフ岩国

【対象】小学3年生～高校生

【参加料】200円 【定員】10名



④和綴じで自由帳を作ってみよう

【と き】7月24日(木) 10:00～12:00

【ところ】サンライフ岩国

【対象】小学3年生～高校生

【参加料】300円

【定員】10名

申込み

7月4日(金) 9:00～
岩国徴古館に電話もしくは直接
TEL 41-0452(先着順)

⑤和紙のハガキを作ってみよう

【と き】7月26日(土) ①10:00～12:00
②14:00～16:00

【ところ】サンライフ岩国

【対象】小学3年生～高校生

【参加料】300円 【定員】8名

⑥江戸時代の文字を読んでみよう

【と き】7月27日(日)
10:00～11:30

【ところ】サンライフ岩国

【対象】小学5年生～高校生

【参加料】無料 【定員】5名程度

⑦浮世絵スタンプをおしてみよう

【と き】7月27日(日)
14:00～15:00

【ところ】岩国徴古館

【対象】小学生～高校生

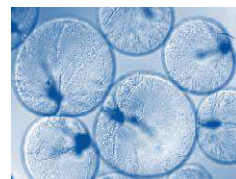
【参加料】無料 【定員】5名程度



せい ぶつ かん ミクロ生物館「おしえて！ みくろん」

第3回「海のなかのキラキラ星！？ ウミホタルとヤコウチュウ」

夏の夜、潮風公園に行くと、水面がまるで星空のように青白くキラキラかがやくことがあります。これらの正体はミクロ生物たち。波打ち際を天の川のように輝かせるのは水面に浮かぶ「ヤコウチュウ」(図1)。大きさは1ミリメートルほどで、波などの刺激を受けると青白くキラキラと輝きます。いっぽう、波打ち際に流れ星のような青白く光る筋を作り出すのは、元気におよぐ「ウミホタル」(図2)。大きさは3ミリメートルほどで、怒ったときや危険を感じたときなどに、青白く光るスミを吐き出すのです。ちなみに、光るお魚「キンメドキ」は、エサとして食べたウミホタルの「光のもと」を使って自分のからだを光らせるそうだよ。おもしろいね！



(図1 ヤコウチュウ)



(図2 ウミホタル)

かがく せい ぶつ かん 科学センター・ミクロ生物館

★スズムシの寄贈受付
・無料配布予約

と き：7月8日(火)～13日(日) 9:00～17:00
ところ：科学センター

★スズムシの無料配布

と き：7月15日(火)～20日(日) 9:00～17:00
ところ：科学センター



※科学センター・ミクロ生物館では、楽しく科学について学べる行事を開催しています。

詳しくはホームページを確認してください。▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶
詳細、お申込方法は科学センターホームページをご覧ください。



なつ やす てん ねん き ねん ぶつ きょうしつ 夏休み！天然記念物教室

岩国市の天然記念物について学びます。
シロヘビやオオサンショウウオの生体展示も行います。

と き：7月30日(水) 10:00～11:50(受付9:30～)

ところ：岩国市役所 多目的ホール

対 象：岩国市内在住の小学生・中学生及びその保護者
参加費：無料

定 員：50名(要申込み)先着順

募集期間：7月4日(金)～7月18日(金)

持ち物：筆記用具

問合せ：文化財課 TEL 29-5098



★けん玉教室&検定会 募集期間6月2日～7月2日

と き：7月5日(土) 13:30～15:30 参加料：100円

対 象：幼・保育園児・小・中学生 定 員：50名

★将棋教室

募集期間6月25日～7月28日

と き：7月29日(火) 13:30～15:30 参加料：無料

対 象：幼・保育園児・小学生 定 員：20名

★囲碁教室

募集期間6月25日～8月1日

と き：8月4日(月) 9:30～11:30 参加料：無料

対 象：幼・保育園児・小学生 定 員：16名

○ところ：由宇文化会館

[申込み・問合せ] 教育委員会由宇支所 TEL 63-0121

あたご やま こうえん 愛宕山ふくろう公園にインクルーシブ遊具広場がオープン！

愛宕町にある愛宕山ふくろう公園は、普段は友達や家族と一緒に遊んだり、リラックスして過ごしたりできる場所として、多くの市民のみなさんに親しまれています。また、大きな災害が起きたときには、「岩国医療センター」や「いわくに消防防災センター」と協力して、災害時に必要な物資を運ぶための広場など、災害で困っている人々を助けるための場所にもなります。

令和7年3月には、大型遊具の近くに、新しく「インクルーシブ遊具広場」がオープンしました。「インクルーシブ」とは「だれでも、みんなで」などの意味があり、この遊具では、年齢や性別、障がいの有無に関わらず、みんなが一緒に遊ぶことができます。この遊具を通じて、子どもたちやその家族、地域の人たちが自然にお互いを理解し合い、協力し合える社会になることを願っています。

ぜひ、みなさんも愛宕山ふくろう公園に遊びに来てくださいね。



編集員のひとりごと

おはよう！こんにちは！気持ちのよい挨拶は心を元気にしてくれるので、日頃から挨拶を心がけています。先日、自転車に乗った数名の男子学生さんが大きな声で一斉に「こんにちは」と通りすぎました。思いがけない彼らの

姿になんともさわやかで心が晴れられました。挨拶は心と心をつなぐ架け橋です。挨拶が相手から返ってこなくても、まず、私から明るく元気に挨拶をしていこうと思いました。